

訪問看護ステーションにおける 訪問体制の現状と課題

- 小規模なステーションのため、利用者が望んでも夜間や休日の訪問ができない場合がある。
- 専門的知見が必要な利用者の状態像（がん末期、小児、精神等）によっては、対応できない場合がある。

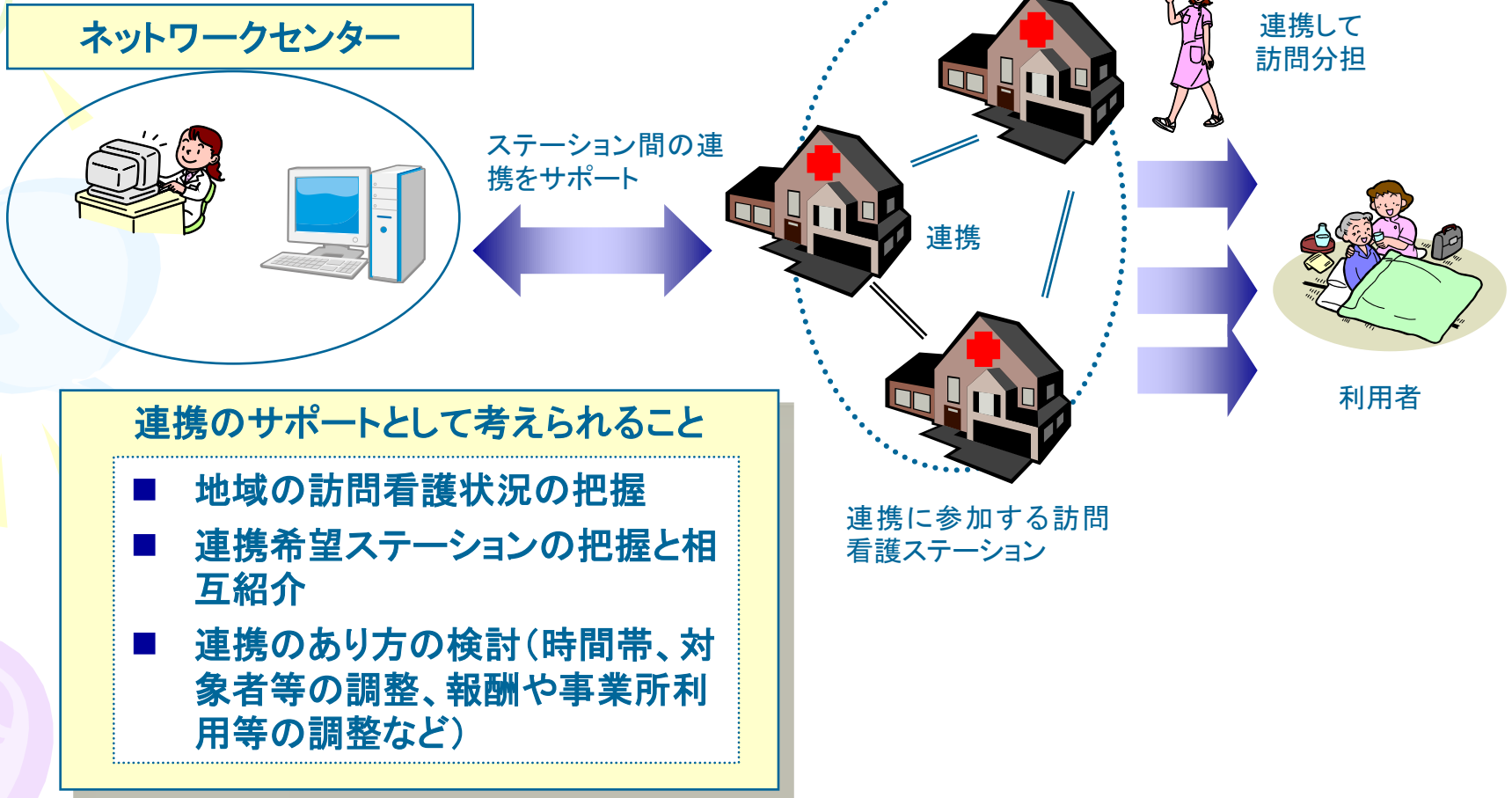


- 夜間や休日対応が可能なステーションや、専門領域に特化したステーション等と分担して、利用者の実情にあった訪問をしたい。



ステーション間で連携して、訪問を効果的に分担するシステムを構築できないだろうか？

ネットワークセンターにおける夜間・休日、 専門領域の訪問分担支援事業のイメージ



ネットワークセンター

ステーション間の連携をサポート

連携して訪問分担

連携

利用者

連携のサポートとして考えられること

- 地域の訪問看護状況の把握
- 連携希望ステーションの把握と相互紹介
- 連携のあり方の検討(時間帯、対象者等の調整、報酬や事業所利用等の調整など)

連携に参加する訪問看護ステーション